

感染拡大防止に関するチェックリスト【吹田市版】

本チェックリストは、新型コロナウイルス感染症に対する有効な対策が確立するまでの期間、感染拡大予防対策の徹底と継続が必要であることから、市の施設や事業等を運営するうえで遵守すべき、基本事項をまとめたものです。なお、施設にあっては、施設管理者だけでなく、必要に応じて施設利用者にも提示し、協力を求めてください。

1 再開にあたっての条件 ①～④のすべての条件を満たすこと

- ①換気状態（密閉空間×）
室内の換気扇を運転し、2方向の窓または入口を同時に全開し1時間に2回以上、数分間、換気ができること。
- ②人の密度の状態（密集場所×）
会場の広さを確保し、お互いの距離を2m（最低1m）あける対応が可能であること。
- ③イベント等の内容（密接場面×）
近距離・対面での飲食・会話・発声・歌唱や、室内での呼気が激しくなるような運動を避けることができること。
- ④参加者の特定（感染発生時の追跡可能）：
参加者を特定し、連絡先を把握することが可能であること。
*主に利用する会場以外でも、集合時や移動時、更衣室やトイレ等、これらの条件をクリアできない状況がないか慎重に確認すること。

2 実施の際の留意点

事業の実施や施設の利用の際は、下記の留意点を参考に感染予防策を徹底できるよう各部局で工夫し、徹底できない場合は中止・延期をすること。

実施内容については平常時と同様にするとなく、規模などを縮小する。

【事前にすること】

- 飛沫感染、接触感染を防ぐための徹底した対策が行えるよう検討をする。※1

- ① 参加者が密着しないよう席の配置を行うなど、お互いの距離をできるだけ2m（最低1m）あける。
- ② 会場に入る定員をいつもより少なくする。（屋内：100人以下かつ収容定員の半分以下の参加人数 屋外：200人以下かつ人と人との距離を2m程度確保）
- ③ 開催頻度の縮小や時間の短縮などを行う。
- ④ 声を出す機会を最小限にし、対面で声を出す場面は、十分な距離を保ちマスクを着用する。
- ⑤ 握手や対面でのグループワークなどは避ける。
- ⑥ 大きな発声をさせない。（声援などは控える）
- ⑦ 重症化のハイリスク者である高齢者や基礎疾患のある人、妊婦などに対して、利用時間を分けるなどの配慮に努める。
- ⑧ 共用物品を最小限にする。

- 参加者を特定し、連絡先を把握する。(参加者に感染者が出た時の対応時に必要)
- 症状のある方の入場制限等に関する事前告知をする。※2

- ① 参加時に発熱・咳・のどの痛みなどの症状があるなど、体調不良の方は参加できません。
* 体温測定は、自宅で行い自己申告とするのか、当日測定するのか検討のこと
- ② 行政機関より外出の自粛を要請されている方は参加できません。
- ③ 参加の途中で頻回に咳をする人がいれば退席を要請する場合があります。

会場設営

【当日の会場設営に関すること】

- 会場に、症状のある方の入場制限等に関する告知(上記※2①～③)を、参加者に見えるよう掲示する。
- 会場入り口にアルコール消毒液を設置する。
アルコール消毒液の確保ができない場合は、会場に入る際の手洗いの実施ならびに、イベントの途中においても適宜手洗いができるような場の確保をする。
- ドアノブなどに触れないよう工夫する。(支障のない範囲で開放)
- 机など参加者が触れるものは、できるだけ排除する。
- イベントのメイン会場以外にも3つの密のリスクがないか確認する。

【当日の注意点】

- 換気は、窓がある場合は2方向の窓を(窓が1つしかない場合は入口を開けて)、1時間に2回以上、数分間、全開にする。窓がない施設では、中央方式の空調設備を常時、運転させておく。可能であれば入口の扉や廊下などの窓を開け、外気を取り入れるよう努める。室内に換気扇がある場合は、常時つけておく。(冷暖房使用時も同様)
- 集合時間や入退場に時間差を設けるなど動線の工夫をし、人の密集を防ぐ対策をとる。
- 複数が共用で使用するものはその都度消毒し、参加者がよく触れる場所は、定期的に消毒する。**消毒方法は別紙参照**
- 飛沫感染、接触感染を防ぐための徹底した対策を行う。(表面※1①～⑧)
- 必要に応じて、参加者の健康チェックを行う。
- スタッフの健康管理の徹底(当日は必ず体温測定を実施)
* 上記※2①の症状、発熱等、体調不良のあるスタッフは参加しない

【参加者に告知すること】

- 会場に、症状のある方の入場制限等に関する告知(上記※2①～③)を参加者に見えるよう、貼り紙をし、開始前にも周知する。
- 参加者にマスクを着用してもらい、咳エチケット、入室前の手指の消毒や参加中の頻繁な手洗いなどの実施をお願いする。

【事後にすること】

- 終了後、参加者が触れたものはアルコールや次亜塩素酸ナトリウムで消毒する。
- 参加者の中に感染者が出た場合は、他の参加者に症状の確認等の連絡がとれる体制を確保する。

事後